

3月のモロッコの政治情勢等を、当地報道を中心に以下のとおりまとめました。要人往来については末尾の一覧表をご覧ください。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

**【主な出来事】**

- ◎（15日）ベンキラン首相の更迭
- ◎（17日）エル・オトマニPJD全国評議会議長の首相任命
- ◎（25日）政権参加政党の基本合意

**<内政・政局・治安>**

**1 内政**

**（1）組閣の難航**

（ア）3日、PJDは執行部会合を開催した。同会合後に発表したコミュニケで、PJD執行部は、首相に指名されたベンキラン党首が内閣を組閣し、新内閣に参加する政党を決定する権限を有する唯一の者である旨述べ、ベンキラン党首に対する支持を再表明した。また、PJD執行部は、前内閣と同じ連立与党構成（PJD、RNI、MP、PPS）で新内閣を組閣するというベンキラン党首の意向に対する支持を再表明した。なお、この会合の冒頭、ベンキラン党首は、組閣プロセスにおいて進展は何もない旨述べた。

（イ）4日、イフランで開催されたRNI関連会合で、アハヌッシュRNI党首は、「衆議院で240議席を持つ安定多数の強い内閣を希望する。我々は、安定的ではない連立に参加する用意はできていない」と述べつつ、「USFPのいない政権には参加しない」と述べた。同党首は、USFPはその過去の経験及び国家の課題（西サハラ問題）のためのその国際的な役割により貢献することができる旨述べ、引き続きUSFPに対する連帯の姿勢を示した。

**（2）ベンキラン首相の更迭**

15日夜、王宮は以下のコミュニケを発表した。

（ア）モハメッド6世国王は、2016年10月7日の衆議院選挙結果発表の48時間後、ベンキラン氏を首相として任命した。

（イ）国王が、幾度にわたり、任命された首相に対し、速やかに組閣するよう勧告した

ことを想起すべきである。アフリカの兄弟国を歴訪後、モロッコに帰国した後、国王は、今日に至るまで5か月間、任命された首相による（複数の）協議は、連立政権を樹立させるには至っておらず、加えて組閣について予測できる兆候も見られないことを認識した。

（ウ）憲法の保証人、国家諸機関のよき運営者、そして、国家及び国民の最高利益の擁護者としての資格をもって、国王の憲法上の特権により、また、現在の停滞する政治状況を乗り越えなければならないとの憂慮により、国王は、PJDから別の政治家を新たな首相として任命することを決定した。

（エ）国王は、民主的選択を強固なものとし、これまで同分野でモロッコが獲得してきたものを守るという国王の不変の配慮を具体化するために、憲法の文言と精神が国王に与えるあらゆる選択肢の中から、この高度な決定を選択した。国王は、速やかにその者を迎え首相として新たな政権の樹立を担当させることであろう。

他方、国王は、在任中、有効性、有能さまた献身さをもって、政権を担当したベンキラン氏が示した高い責任感、誠実な愛国心を讃えた。

### （3）新首相の任命

17日、王宮は、モハメッド6世国王がエル・オトマニPJD全国評議会議長を招き、憲法に則り首相に任命し、新内閣の組閣を命じた旨発表した。エル・オトマニ新首相は2008年からPJD全国評議会議長を務め、同党序列第2位。衆議院議員で精神医学者（63歳）。

### （4）PJD臨時全国評議会の開催

（ア）18日、PJD臨時全国評議会が開催された。同評議会では、国王の指示に従い、組閣作業を加速させる絶対的な必要性がある旨が強調された。同評議会は会議終了後、コミュニケを発表し、次期政権は、直近の国政選挙で表明された国民の意思、民主的選択そして憲法の諸規定を尊重した国王の信頼を得る、力強く、調和のある、そして効率的なものでなければならない旨明らかにした。また、同評議会は、エル・オトマニ新首相を支持することを表明しつつ、前政権が始めた諸改革を継続する決意を示した。加えて、同評議会は、衆議院選挙の結果第一党となっているPJDから新たな首相を任命することを通じて、新内閣組閣にかかる憲法上の諸規定の民主的執行を継続すること、民主的選択を認め、政治の分野でモロッコが獲得してきたものを保全するとの国王陛下の高いご配慮についても表明した。

（イ）19日、エル・オトマニ新首相は、先の衆議院選挙における得票順に、議会に議席を有するすべての政党と組閣のための協議を開始する旨発表した。

### （5）エル・オトマニ首相による組閣に向けた政党間協議

（ア）21日、エル・オトマニ首相は、異なる複数の政党との協議の第1ラウンドを終え、①RNI・UC間の提携関係、②PAMは野党に残留すること、③PIの立場に変更はないこと、④PPSは条件が揃えば（連立政権に）参加することを確認した。

(イ) また、連立に向けた協議において、ラシュガールUSFP党首は、同党代表以外は「誰もUSFPの名において話すことはないであろう」と繰り返し述べ、RNIとの分離関係を示唆した。

#### (6) 政権参加政党の基本合意の発表

(ア) 25日、エル・オトマニ首相は他の政党党首とともに組閣協議の結果を発表し、PJD, RNI, UC, MP, USFP及びPPSの6政党が次期政権に参加することで合意したと述べた。これにより、政権与党6党は、衆議院全395議席のうち240議席の安定多数を占めることとなる。

(イ) この合意を受け、26日、エル・オトマニ首相は、新政府の政策プログラムの推敲を開始するとともに、新閣僚選定プロセスを開始した。

#### (7) 選挙違反にかかる憲法評議会発表

昨年10月19日から本年3月23日までの間に、憲法評議会は、昨年10月に行われた衆議院選挙と2015年に行われた参議院選挙における選挙違反等に対する同評議会の決定を発表した。昨年10月の衆議院議員選挙については、同評議会は15の選挙違反疑いに対する決定を公開、このうち1件(エル・ジャディーダ選挙区。UC議員が当選)の選挙の無効とやり直しを命じた。

#### (8) 3月末までのモロッコにおける難民状況

(ア) UNHCRは、3月末までのモロッコにおける難民及び庇護申請者数を発表した。同発表によれば、モロッコにおける難民・庇護申請者数は7042名(難民数:5184名、庇護申請者数は1858名)であり、2016年末の6734名に比べ増加した。

(イ) 3月末時点での難民にかかる国別内訳は、シリア(3560名)、イエメン(297名)、コートジボワール(296名)、中央アフリカ(198名)、コンゴ(民)(175名)、イラク(147名)、カメルーン(67名)、パレスチナ(58名)、ギニア(30名)、マリ(15名)となっている。

(ウ) これに対し、庇護申請者の国別内訳は、カメルーン(392名)、コートジボワール(259名)、ギニア(243名)、コンゴ(民)(226名)、マリ(132名)、中央アフリカ(40名)、イラク(27名)、パレスチナ(14名)である。

## 2 治安

### (1) ISIL支持者2名の逮捕(カサブランカ)

(ア) 9日、中央司法捜査局(BCIJ)は、カサブランカで活動していた2名のISILを支持する過激主義者を逮捕した。捜査により、容疑者はISILによる残虐な犯罪を賞賛し、モロッコで爆発物を使用したテロを計画するとともに、既に爆発物の製造に関係する備品の獲得に着手していた。

(イ) このオペレーションにより、銅製ケーブル、温度計、電気バッテリー、疑わしい液体が入ったビン、火薬袋や爆発物の製造に使用されるその他の疑わしい備品が押収さ

れた。

(2) I S I Lとの関連を有する15名の容疑者の逮捕（カサブランカ，マラケシュ，タンジェ等）

（ア）15日及び16日，BCIJは，カサブランカ，フェズ，ナドール，テトゥアン，エッサウィラ，フキフ・ベンサレ（モロッコ中部），タンジェ，マラケシュ，ウジュダ及びアガディールで活動していたI S I Lとの関連を有する15名の容疑者を逮捕した。

（イ）捜査により，容疑者は，モロッコでI S I Lによる虐殺行為や破壊行為を真似たテロを実行するため，広範囲に渡り活動していたことが明らかになった。また，捜査によれば，数名の容疑者は爆発物を製造する能力を有しており，モロッコの複数の都市の重要施設，観光地や公共施設を狙ったテロを実行するため，爆発物製造に必要な材料を入手しようとしていた。

（ウ）更に，容疑者のうち1名は，I S I Lの名の下での犯行声明のビデオ作成のため，カサブランカで調査活動及び標的の選定を行っていた。また，数名の容疑者は，政治家や軍人を暗殺するため，火器の取得を試みていたことが明らかになった。

## <外交・国際関係>

### 1 アフリカ関係

#### (1) モハメッド6世国王とブハリ・ナイジェリア大統領との電話会談

(ア) 1日、モハメッド6世国王はブハリ・ナイジェリア大統領と電話会談を行った。電話会談で、モハメッド6世国王はまずブハリ大統領の健康状態について尋ね、同大統領の健康状態のめざましい改善を祝福した。

(イ) 電話会談では同様に、モハメッド6世国王が昨年12月にカサブランカで主催したモロッコ・ナイジェリア・大西洋ガス・パイプラインに関する会合について触れられ、この戦略プロジェクトの今後のステップについて協議が行われた。

(ウ) また、モハメッド6世国王はブハリ大統領に対し、同国王の最近のアフリカ諸国歴訪やモロッコのECOWAS加盟申請について説明するとともに、ECOWAS加盟申請について国王が当該地域の国家元首と行った会談について説明した。

(エ) モハメッド6世国王は、モロッコのAU復帰にかかるブハリ大統領の個人的な関与に謝意を伝えるとともに、ラバト＝アブジャの戦略的枢軸をアフリカの全ての課題にかかる協議と協力の枠組みとしたいとする国王の意思を伝達した。

#### (2) ECOWAS加盟のための働きかけ

18日から24日まで、メズアール外務・協力大臣及びブリタ同大臣付特命大臣らは主にECOWAS加盟のための働きかけのためにアフリカ諸国を訪問し、セネガル（メズアール大臣）、ニジェール（同大臣）、マリ（ブリタ特命大臣）、ブルキナファソ（マンスーリ調査分析総局長）、ナイジェリア（ブリタ特命大臣）、ガーナ（ブリタ特命大臣）の国家元首にそれぞれモハメッド6世国王のメッセージを伝達した。

### 2 中東関係

#### ● ヨルダン国王のモロッコ訪問

22日から24日まで、アブドゥラー2世・ヨルダン国王がモロッコを訪問した。アブドゥラー2世国王は、空港でモハメッド6世国王及びムーレイ・ラシッド王子による出迎えを受けたほか、モハメッド6世国王と首脳会談を実施した。なお、今次アブドゥラー2世国王のモロッコ訪問には、ガジ・ビン・モハメッド・ビン・タルル王子（宗教・文化担当第一顧問）が同行した。今次訪問でアブドゥラー2世国王は、28日からヨルダンで開催される第28回アラブ連盟首脳会合へのモハメッド6世国王の出席を働きかけたものと報じられたが、モハメッド6世国王は結局、同会合へ不参加、代理としてメズアール外務大臣が出席した。

### 3 西サハラ関係

#### (1) ガルガラト地域における大量の麻薬の押収

(ア) 11日、国家安全総局（DGSN）ガルガラト国境監視所は、税関及び王国憲兵

隊と連携し、モロッコ・ナンバーの2台の国際輸送トラックを利用した麻薬密輸計画を頓挫させた。

(イ) DGSNが、アガディールに本社がある会社所有の2台のトラックを制止したところ、積荷の農業用肥料の中に7.4トン以上的大麻が隠蔽されていることが明らかになった。

### (2) クランス・モンタナ・フォーラムの開催

(ア) 17日から21日まで、西サハラ地域主要都市ダフラにおいてスイスのNGOクランス・モンタナ・フォーラム主催の国際フォーラムが開催され、南南協力やアフリカ協力をテーマに議論が行われた。

(イ) 今次フォーラムには約150か国から900名以上の出席があったと報じられており、ドスト・ブラジ国連事務総長特別顧問、サラキ・ナイジェリア上院議長、バンダ・ザンビア元大統領、シセ・ロECOWAS議会議長などが参加し、モロッコからはドライス内務大臣付特命大臣、ハタット・ダフラ＝ウエド・エッダハブ地域圏議会議長らが参加した。

### (3) ポリサリオ戦線の戦力増強

(ア) 4日、ブラヒム・ガリ・ポリサリオ戦線書記長は、ポリサリオ戦線が新たに調達した露製装甲兵員輸送車70台、トヨタ・ランドクルーザー180台等を視察した。

(イ) ポリサリオ戦線による、新たな装備による戦力の増強はモロッコとの軍事バランスに影響を及ぼすことはないものの、ガルガラト地域から撤退したモロッコに対し、ポリサリオ戦線が同地域におけるプレゼンスを引き続き堅持する意図を示しているとみられている。

**<モロッコ要人の外国訪問>**

日付	国	氏名・肩書き	目的
2月28日-3月1日	ベルギー	エル・マルキ衆議院議長	タジャーニ欧州議会議長との協議
3月6-7日	ガーナ	エル・マルキ衆議院議長	ガーナ独立60周年記念式典出席, マイク・オクアイエ衆議院議長との会談, マハムドゥ・バウミ衆議院副議長との会談
3月6日	カタール	ベンキラン首相	第4回カタール情報技術会議出席, シェイク・タミーム・ビン・ハマド・サーニ首長表敬, シェイク・アブドッラー・ビン・ナーセル・ビン・ハリファ・アール・サーニ首相(内相兼)との会談
3月9日	コンゴ(共)	メズアール外務・協力大臣	COP22 コンゴ盆地基金設立式典出席
3月9-10日	フィンランド	ベンシャマシュ参議院議長	サウリ・ニーニスト大統領との会談, ティモ・ソイニ外務大臣との会談, マリア・ロヘラ国会議長との会談, ジュハ・レフラ保健・社会問題大臣との会談
3月16日	セネガル	アジマン国王顧問(教育・訓練・科学研究上級評議会議長), ベンモクター国民教育・職業訓練大臣, エル・ムサリ高等教育大臣代行	アフリカ教育開発協会会合出席, サル大統領表敬
3月17日	独	ブーサイド経済・財政大臣	G20 財務大臣・中央銀行総裁会合出席
3月18-19日	セネガル	メズアール外務・協力大臣	サル大統領表敬(モハメ

			ッド6世国王メッセージの転達)
3月20日	ニジェール	メズアール外務・協力大臣	イスフ大統領表敬(モハメッド6世国王メッセージの転達)
3月20日	マリ	ブリタ外務・協力大臣付特命大臣	ケイタ大統領表敬(モハメッド6世国王メッセージの転達)
3月20日	仏	スビヒ文化大臣	世界遺産保護関連会合出席
3月22-23日	仏	ララ・メリアム王女	パリにおけるモロッコ書道展覧会の開催(オランダ大統領も出席)
3月22日	米国	ブリタ外務・協力大臣付特命大臣	対ISISグローバル連合閣僚級会合出席
3月23日	ブルキナファソ	マンスーリ調査分析総局(DGED)総局長	カボレ大統領表敬(モハメッド6世国王発親書の転達)
3月24日	ナイジェリア	ブリタ外務・協力大臣付特命大臣	モハメッド6世国王発ブハリ大統領宛親書の転達
3月24日	ガーナ	ブリタ外務・協力大臣付特命大臣	アクフォ＝アド大統領表敬(モハメッド6世国王発親書の転達)
3月24-26日	カタール	メズアール外務・協力大臣	シェイク・タミーム・ビン・ハマド・サーニ首長表敬(モハメッド6世国王メッセージの転達), シェイク・ムハンマド・ビン・アブドルラフマン・アール・サーニ外務大臣との会談
3月28-29日	ヨルダン	メズアール外務・協力大臣	アラブ連盟準備会合出席, 第28回アラブ連盟首脳会合出席

<外国要人のモロッコ訪問>

日付	国・機関	名・肩書き等	目的
3月7日	イスラム協力機構（OCI）	ユセフ・アル・オサイメン事務局長	アリ・ラズラック外務・協力省次官との会談
3月9日	ウガンダ	イサンガ・ムサンバ都市開発担当国務大臣	ナビル・ベンアブダラ住宅・都市政策大臣との会談，持続可能な都市開発促進のための二国間MOU署名
3月12-14日	仏	ジャン・ピエール・ドセール陸軍参謀長（陸将）	ルアラク・モロッコ王立陸軍総監（少将）との会談
3月13日	エリトリア	オスマン・サレー外務大臣，イエマン・ゲブレアブ・ウォルデヨハン大統領政治顧問	メズアール外務・協力大臣との会談，イサイアス・アフォルキ大統領発モハメッド6世国王宛親書の転達
3月15-17日	ブルキナファソ	カボレ大統領	第5回国際アフリカ開発フォーラム出席
3月16日	コートジボワール	フォファナ観光大臣	第5回国際アフリカ開発フォーラム出席
3月16日	ニジェール	ガルバ・アルムスタファ環境・持続可能な開発大臣	メズアール外務・協力大臣との会談
3月16日	ギニア	コンデ大統領	私的滞在，モハメッド6世国王との会談
3月16日	ナイジェリア	サラキ上院議長	エル・マルキ衆院議長との会談，クランス・モンタナ・フォーラム出席
3月17日	マダガスカル	シャバニ産業・民間セクター開発大臣	国際アフリカ開発フォーラム出席
3月17日	仏	ジャン・ポール・ボダン国防省行政担当次官	ルディ首相付国防管理担当特命大臣との会談
3月20日	イラク	アル・ジャブーリ国会議長	アラブ議会連合出席，エル・マルキ衆院議長との会談

3月20日	パレスチナ	ザアヌーン法制評議会 議長	アラブ議会連合出席, エル・マルキ衆院議長との 会談
3月22-24日	ヨルダン	アブドゥラー2世国王	公式訪問, モハメッド6 世国王との会談
3月24日	中国	張茅 (Zhang Mao) 中国 国家工商行政管理総局 局長	エル・アラミ産業・投資・貿易・デジタル経済大臣との会談, 知識・情報共有及び管理職養成分野の協力強化に関する覚書への署名
3月29日	豪州	フィッシャー仏語圏ア フリカ担当首相特使	エル・マルキ衆議院議長との会談, アリ・ラズラック外務・協力省次官との会談

(了)